

## チャレンジ支援推進地域事業中間報告書

滋賀県

1. チャレンジ支援推進地域事業の全体像	<p>(事業名) チャレンジネットワーク整備・推進事業  (ネットワーク等全体像) 別紙 1  (ネットワーク参加機関) 別紙 2  (年間スケジュール) 別紙 3</p>
2. 事業内容および事業計画の概要	<p>事業内容</p> <p>1 ワーキンググループ、滋賀県女性のチャレンジ支援連絡会議の設置  目 標：県内におけるチャレンジ支援のための連携を推進するとともに、関連情報の共有等を行い、共同事業の実施を検討する。</p> <p>(1) ワーキンググループ  第 1 回 開催 5 月 3 1 日  ・チャレンジネットワーク整備・推進事業説明  ・連絡会議構成機関の検討</p> <p>(2) 滋賀県女性のチャレンジ支援連絡会議の設置  県内における女性のチャレンジ支援機関（11機関）を構成機関とし「滋賀県女性のチャレンジ支援連絡会議」を設置した。  （運営組織は設置要綱別紙のとおり）</p> <p>2 チャレンジサイトの制作  目 標：チャレンジ関連情報の一元化を図るため、ITによる情報提供環境の整備を図る。  運営組織：男女共同参画センター  その他：10月下旬 構成内容、リンク先、ロールモデル等検討  3月中旬 試行開始  サイトPR（リーフレット作成 予定部数 5,000部）</p> <p>3 女性のチャレンジ支援講座の実施  目 標：異分野連携によるテーマの設定など、ワーキンググループ、チャレンジ支援連絡会議を活かし、実施する。  運営組織：男女共同参画センター  その他：内容は別紙のとおり  実施にあたって工夫したところ  講座終了後に講師等と受講者の意見交換の場を設けた</p>

<p>2. 事業内容および事業計画の概要</p>	<p>各支援機関から得た情報をその都度提供          チャレンジ連絡会議構成機関に講師および助言者を依頼</p> <p>4 男女共同参画県民提案事業          目 標：フォーラムや講座等の事業をNPOから公募し、実施する。          運営組織：NPO等          その他：7プランの応募があり、うち2プランを採択              「子育てサポーター養成講座」              「いきいき毎日応援講座」                  募集期間 5月2日～6月20日                  第一次審査 7月6日（書面）                  第二次審査 7月16日（プレゼン）</p> <p>5 チャレンジシンポジウムの開催          目 標：女性のチャレンジの必要性、有効性を学ぶ。          運営組織：主催（内閣府、滋賀県）、後援（京都府、奈良県、兵庫県他）          その他：基調講演、シンポジウム、パネル展示                  別添ちらし参照</p> <p>6 成果の発表          目 標：本県が本年度行った事業について、広く広報する。          内容：4事業（サイト・講座・提案事業・シンポジウム）の成果を紹介する。（詳細未定）          時期：2月下旬</p> <p>成果と事業終了までの今後の課題          （成果）              関係機関の協力を得ることで、これまでよりも事業企画の幅が広がった。（女性のチャレンジ支援講座）          （今後の課題）              次年度に向けた具体的な連携について、検討を進める必要がある。              チャレンジした女性のニーズをつかみ、効果的に情報提供を行う必要がある。</p>
<p>3. 備考</p>	
<p>4. 担当部課等</p>	<p>（所在地） 滋賀県大津市京町四丁目1-1          （部課名） 滋賀県政策調整部男女共同参画課          （担当者） 大橋</p>

## チャレンジネットワーク整備・推進事業 全体像イメージ

### 目的

チャレンジしたいと考える女性が、総合的な情報等を得ることができるよう、チャレンジを支援する関係機関のネットワークを図る。

### 期待される効果

「女性のチャレンジは、男性の元気、社会の元気」起業、社会貢献、まちづくりなど様々な分野において、地域の活性化が期待される。

各部局との連携のもと、情報のワンストップ化が図れる。

多様な分野における女性の人材の育成により、女性の施策・方針決定等への参加の促進が期待される。（ベンチマークの推進）

### 事業実施のイメージ

男女共同参画センター（拠点）、男女共同参画課が事務局として機能し、全体をコーディネート

#### ワーキンググループ(庁内連携)

チャレンジネットワーク全体の仕組みの設計

提供する情報の整理、提供方法の検討

相乗効果をねらった講座等の企画・運営の検討

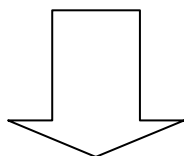
仲間づくりの方策（異分野交流、個人・小さなチャレンジを大きくする）検討



#### 女性のチャレンジ支援連絡会議

チャレンジサイトに掲載する情報の提供、講座等情報の共有、支援機関への円滑な橋渡しなど

労働局、21世紀職業財団、雇用・能力開発機構、産業支援プラザ、商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会、農協中央会、農業技術振興センター、淡海文化振興財団、県社協



- ・ 総合的、体系的な情報の提供
- ・ 事業の実施で連携、協力

### 事業内容

チャレンジサイトの立ち上げ（男女共同参画センター）

女性のチャレンジ支援講座（5つのテーマ）（男女共同参画センター）

男女共同参画県民提案事業（男女共同参画課）

チャレンジシンポジウムの開催（男女共同参画課）

滋賀県女性のチャレンジ支援連絡会議の設置要綱

第 1 条（趣旨）

女性が意欲と能力に応じて社会の様々な分野で積極的に活躍できるようにするためには、チャレンジしたいと考える女性がいつでもどこでもだれでも必要な情報を効率的かつ総合的に入手できる環境づくりが必要不可欠である。

そのため、県内のチャレンジ支援機関の相互連携を図り、各機関が行う事業等の情報の一元化（IT環境整備）を行う。また、各チャレンジ支援策の共同実施等を検討する。

第 2 条（協議事項）

- （ 1 ）各支援機関のネットワークの構築および連携に関する事。
- （ 2 ）各支援機関のチャレンジ関連実施事業の情報の共有に関する事。
- （ 3 ）女性のチャレンジサイトに掲載する情報に関する事。
- （ 4 ）各支援事業の連携および共同実施に関する事。
- （ 5 ）その他必要と認められる事。

第 3 条（構成）

女性のチャレンジに関する支援をしている県内の機関および団体で構成する。

第 4 条（庶務）

連絡会議の庶務は、滋賀県立男女共同参画センターにおいて行う。

第 5 条（その他）

- （ 1 ）連絡会議参加機関以外の支援関連機関等の出席は、必要に応じて参加を求めるものとする。
- （ 2 ）県関係課の臨席については、認めるものとする。
- （ 3 ）連絡会議は、必要に応じて年 1 回以上は開催する。

附則 この要綱は、平成 17 年 8 月 12 日から実施する。

## 滋賀県女性のチャレンジ支援連絡会議構成機関

滋賀労働局職業安定部職業安定課

財団法人 21世紀職業財団 滋賀事務所

独立行政法人 雇用・能力開発機構 滋賀センター

財団法人 滋賀県産業支援プラザ

滋賀県商工会議所連合会

滋賀県商工会連合会

滋賀県中小企業団体中央会

滋賀県農業協同組合中央会

滋賀県農業技術振興センター

財団法人 淡海文化振興財団

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

滋賀県立男女共同参画センター

チャレンジネットワーク整備・推進事業の年間スケジュール

- 5月31日 第1回ワーキンググループ会議  
・チャレンジネットワーク整備・推進事業説明  
・連絡会議構成機関の検討
- 8月12日 第1回女性のチャレンジ支援連絡会議  
基調講演「今、なぜ女性のチャレンジ支援が必要か」  
講師：京都大学大学院 教授 伊藤公雄  
滋賀県の現状および事業趣旨説明  
各構成機関における支援事業概要説明
- 9月25日 チャレンジシンポジウム2005 滋賀  
「ビジネスステージから広がる豊かな暮らし、社会の元気」
- 10月上旬 第2回ワーキンググループ会議  
・次年度連携に向けての検討
- 10月下旬 第2回女性のチャレンジ支援連絡会議  
内容（予定）：チャレンジサイトの制作、次年度における共同事業の模索についてなど
- 2月下旬 第3回女性のチャレンジ支援連絡会議  
内容（予定）：チャレンジサイト内容確認・維持管理、および次年度における共同事業  
の検討について
- 3月中旬 チャレンジサイト試行開始

## ワーキンググループメンバー

平成17年度男女共同参画課兼務・併任職員(平成17年4月1日現在)

所 属	職 名	氏 名
自治振興課	副主幹	坂口 健
県民文化課	主幹	鈴木 明美
健康福祉政策課	主幹	土肥 純也
健康推進課	主幹	野村 亮三
元気長寿福祉課	副参事	山本 秀司
こども家庭課	副主幹	高山 朋子
商業観光振興課	課長補佐	佐藤 隆道
労政能力開発課	主幹	野田 一隆
農業経営課	参事	野村 衛
教委)学校教育課	指導主事	脇 淳子
教委)生涯学習課	副主幹	北辺 禎雄

第1回滋賀県女性のチャレンジ支援連絡会議出席者名簿

機 関 名	職 名	氏 名
滋賀労働局職業安定部職業安定課	職業紹介第一係長	赤 堀 和 彦
財団法人 21世紀職業財団 滋賀事務所 独立行政法人	課 長	三 浦 榮 一
雇用・能力開発機構 滋賀センター	業務課長	中 居 義 勝
財団法人 滋賀県産業支援プラザ	管理部産業情報 グループ マネージャー	馬 場 英 一
滋賀県商工会議所連合会	事務局次長心得	中 塚 浩
滋賀県商工会連合会		欠 席
滋賀県中小企業団体中央会	総務課 主事	中 嶋 和 繁
滋賀県農業協同組合中央会	生活広報部 専門員	武 部 康 広
滋賀県農業技術振興センター	主任技師	小 松 茂 雄
	農業経営課 主事	宮 嶋 崇
財団法人 淡海文化振興財団	主任主事	笹 山 衣 理
社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会	主任主事	高 橋 宏 和
滋賀県立男女共同参画センター	所 長	高 田 恵 里 子
	次 長	北 川 光 明 子
	主 査	武 村 絹 子

男女共同参画課 主査 大 橋 光 広

県庁ワーキングメンバー参加者

( 農業経営課 主事 宮 嶋 崇 )

労政能力開発課 主幹 野 田 一 隆

県民文化課 ( N P O 活動推進室 ) 主幹 鈴 木 明 美



## 2005年度「女性のチャレンジ支援講座」実施要綱

- 1 趣 旨 急激な少子高齢化、国内経済活動の成熟化、高度情報化社会の進展等、急速な社会経済情勢の変化に対応していく上で、男女が互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、極めて重要である。すなわち、男女があらゆる分野で活躍できる社会は家庭生活とその他の活動を充実させ、社会全体の発展に大きな利益をもたらすものと考えられる。  
そこで、とりわけ女性が個性と能力を十分に発揮しえない現状を踏まえ、様々な分野における支援策とチャレンジの実際についての学習機会であるとともに、ニーズに応じた資料提示や情報提供の場として、本講座を開講する。
- 2 実施期間 平成17年5月～9月（全6回）
- 3 対象者 下記の目的を持つ県民女性 50名程度 \*連続受講を原則とする\*  
 (1) チャレンジ支援策について学びたい  
 (2) 多様な働き方について知りたい  
 (3) 地域づくりやまちの活性化に貢献したい  
 (4) NPOを立ち上げたい、コミュニティービジネスに挑戦したい  
 (5) 起業したい  
 \*オープン参加も可能。ただし、6回全講座受講者は10月以降開催のIT講座(プレゼンスキルを身につける)受講を優先する。
- 4 開催時間 13:30～15:30  
 15:30～16:30(講師を囲んで「Q&A会」あり\*自由参加\*)
- 5 会 場 滋賀県立男女共同参画センター 視聴覚室
- 6 事業内容 「レッツ チャレンジ! さぁ動きだそう」

回	期 日	内 容	講 師
1	5月20日 (金)	地域や社会の活性化は、 女性のチャレンジから! ～身の丈ビジネスから始めよう～	(有) キャップス 代表取締役 清水 智子さん
2	6月17日 (金) FM滋賀生放送 チャレンジショ ップ開催	コミュニティービジネスへの道 「子育て支援活動」 ～様々な形態から学ぶ～	グループ活動「子育ていきいきくらぶ森のくまさん」 辻田 純子さん NPO法人「保育サービスドリーム」 田島麻佐子さん コミュニティービジネス「マイママ・セラビー」 押栗 泰代さん
3	7月 8日 (金)	税と社会保険に強くなるウラワザ ～知っておきたい税・社会保険制度～	(財)21世紀職業財団滋賀事務所 雇用管理アドバイザー 社会保険労務士 柳崎 光枝さん
4	7月22日 (金)	商と農のコラボ! ～商店街や地域の活性化を目指して～ キーワードは、「アイデア」と「ネットワーク」	(有)ほのぼの館 代表取締役:高木茂子さん 蒲生町商工会女性部「特産品あかねの会」代表:大澤洋子さん 観光イチゴ農園「グラス・ホッパー」 中村身江さん
5	8月19日 (金)	自らの課題やニーズを行動に! ・趣味と特技とアイデアを生かしてNPO設立へ	NPO法人ヒューマンサポート協会 代表理事 黄瀬紀美子さん
6	9月 9日 (金)	私にできることって? why? what? how to?	(有) キャップス 代表取締役 清水 智子さん

- 7 申込方法など  
 ・申込期限 平成17年5月13日(金) (全講座受講および第1回オープン受講のみ)  
 ・第2回以降のオープン参加は、開催日3日前までに申し込む  
 ・申込はチラシ裏面「女性のチャレンジ支援講座申込書」様式参照、別様式メール可